

事業所名 わくサボジュニア廿日市駅前

公表日 令和8年2月10日

利用児童

数 25

回収数 16

	チェック項目	はい	どちらとも しらない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14			2			
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10			6			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	3		2	我が子にとっては何の問題はありませんが、その他のお子さんにとって適切なバリアフリー化等があるかは分かりません	事業所が2階のため、階段昇降時には気を付けるようにお声かけをしております。視覚・聴覚等それぞれに合わせて配慮をして伝達することを心がけています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15			1			
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	1		1			
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	1		4			
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15			1			
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13			3			
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15			1			
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	1		2			
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	1	2	8	利用して間もないため分からない	他放デイとの活動時間の違いや、中高生が多いため実施していませんが今後必要があれば検討していきます。	
	保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14			2		
		13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	1		1		
		14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	4		4	利用して間もないため分からない	講習会などの情報提供があった際には保護者にも情報提供をしています
		15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	13	2		1		
16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。		11	2	1	2			
17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。		13	1		2			
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		2	3	3	8	利用して間もないため分からない	日程調整ができず実施できていないため、保護者からのご希望があれば実施していきます	
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。		13	1		2			
20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。		12	3		1			
21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。		8	5		3			
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12			4				
非常 時の 対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	4		9	利用して間もないため分からない	今後は契約時にご説明をさせていただきます。また訓練を実施した際にはご報告していきます	
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	4		9	利用して間もないため分からない	実施した際にはご報告します	
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	2		5			
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	1		3			
満足 度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	11	4		1			
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	7	8		1			
	29 事業所の支援に満足していますか。	12	2		2			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
わくサボジュニア廿日市駅前		令和8年 2月 10日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用者一人あたりに対して十分な活動スペースを確保している	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		利用者一人あたりに対して十分な職員配置を確保している	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	事業所が2階ではあるが、事業所内は段差がないフラットである	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		パーティションで個別ブースを確保するなど、それぞれの利用者が心地良く過ごせる空間の工夫を行っている	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		パーティションで個別ブースを確保するなど、それぞれの利用者が心地良く過ごせる空間の工夫を行っている	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		日々の朝礼や終礼やミーティングで意見を出し合い課題の改善に努めている	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		実施している	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		スタッフミーティングで意見を出し合いながら支援方法の検討や改善が行えるようにしている	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			現状は行っていないが、今後機会があれば活用を検討していく	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月2回のスタッフミーティングで研修を行っている	
適切な支援の提...	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		スタッフ全員で意見を出しながらプログラム作成を行い、毎月保護者にプログラム表を送付している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		個々の特性などを理解し、個別活動や集団活動の必要性を考慮して計画を作成している	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		作成時にはこどもそれぞれの課題を出し合いながら課題・それに向けての支援内容の検討を行うようにしている	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		スタッフ間で共有しながら日々の支援の方向性の統一を図っている	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		発達検査等を病院で受けていただいたものを活用しながら支援の参考にしたり、行動による一人ひとりに適した支援を考えながら実践をしている	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		スタッフ全員でアセスメントを行いながらその子どもにとって何が必要かを考えて、支援内容を含めて作成を行っている	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		前月に翌月の活動プログラムの案をスタッフ全員で考えて作成を行っている	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		利用者のやりたいことなどをヒアリングしながら、活動プログラムに盛り込んでいけるように工夫を行っている	

供

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		それぞれの子どもの課題や特性に合わせて個別活動・集団活動の必要性を考慮して計画を作成している	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝、朝礼を実施し、その日の送迎確認や注意事項・スタッフの動きなどをスタッフ全員で共有している	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日終礼を実施し、その日の振り返りや利用者の様子（気になった行動や成長など）や改善点などをスタッフ全員で共有している	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		スタッフ間で共有を行いながらその日のうちに記録作成を行っている	
23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的なモニタリング及び計画の見直し・作成を行っている	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		複数組み合わせ実施している	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動プログラムを選択できるようにしたり、座る席も決めずに一人ひとりが決定できる場面を多く提供している	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		事前に利用児童の状況をスタッフ間で共有した上で参画している	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		利用者に関わる関連機関と連携体制を取っている	
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		ご本人・ご家族の許可を得て、学校との必要な情報共有や提供を行いながら連携を図っている	
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			現状ではできていないため、必要があれば連携を図っていける体制を作っていく
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		ご本人・ご家族の許可を得て、スムーズに移行ができるように積極的に情報提供を行っている	
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			現状ではできていないため、必要があれば連携を図っていける体制を作っていく
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			対象が中・高生のため現状交流の機会がないため今後検討していく
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			機会があれば積極的に参加していきたい
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			電話や公式ラインを使用してご本人に関する情報共有などを行っている
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			今後もう少し面談などを行い、子どもの発達や成長に関することや保護者の関わり方など助言を行っていく
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行っている	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		定期的にご本人・保護者からの気持ちや意向の聞き取りを行いながら作成を行っている	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		作成時には説明を行い、同意を得ている	
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		実施している	

関係機関や保護者との連携

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		保護者からの希望もあるが、日程調整ができず実施できていないため実施できるようにしていく
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情窓口を設置している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		公式ラインやSNSを利用して情報発信を行っている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付き書庫でファイルを保管している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		書面で情報をお渡ししたり、平仮名での記載をするなど配慮をしている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		見学会や説明会を随時行っている	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○		感染症対策に関しては周知できているが、他のものに関しては行うことができていないため作成して周知していく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			今後ありとあらゆる場面を想定して定期的に訓練の実施を行っていく
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に身体状況の確認を行い、発作等が出た時の対応も保護者と確認を行っている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			現在重篤な食物アレルギーを持っている利用者がいないため、今後必要になれば対応を行っていく
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		行っている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		事前に保護者に周知を行っている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		実施している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に虐待防止研修会を社内で開催してスタッフ全員が受講している	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○		細かい部分まで説明することができていないため、今後は利用契約時に書面で説明して同意を得ていく	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	わくサボジュニア廿日市駅前		
○保護者評価実施期間	8年 1月 13日		8年 1月 23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	8年 1月 13日		8年 1月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	8年 2月 5日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所内の過ごしやすい環境設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 机の配置、他者の目が気になる利用者に対してはパーテーションで区切った個別ブースで活動や気持ちの切り替えが行えるように環境を整えている。 ・ 視覚優位の利用者が心地よく過ごせるように視覚情報が入りにくいように色などにも統一感をもたせている。 	整った環境の中で清潔感を維持していけるように整理整頓を心がけていく
2	不登校児童対象での対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不登校であるため学力低下を心配される保護者が多いため、午前中は「短時間でも鉛筆を持つこと」を意識して習慣つけれるようにしている。 ・ 生活リズムを整えるためにも意識して朝の送迎を組むように意識している 	今後は個々に合わせた学習内容・指導の強化をしていく予定
3	活動プログラムの充実と安心感	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者が楽しく取り組めるものと必要性のあるものを混ぜこんでプログラムの考案・作成を行っている ・ 安心して通所できるように保護者にもきめ細やかな連絡・連携を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 18歳になった時に困らないような社会性を身に付けていけるプログラム展開を行っていく ・ 保護者との面談回数を増やしていき更に密に連携を取れる体制・関係性を築いていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の関わりが持てる保護者会や懇談会・参観日などの設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就労されている保護者が大部分であるため、平日の業務中での実施が困難であり実施できていない ・ 中高生が多く、多感な年齢であるため、保護者に来られることに抵抗感があるため実施できていない 	土曜日開所日で出勤スタッフに余裕がある時に保護者だけの懇談会などを設定していく
2	マニュアルが不明瞭	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアルなどのマニュアル化が会社全体で明確化されていない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事例に対しての対応策やスタッフの動きなど場面場面で想定してマニュアル化を図り、何が起きても的確に動けるようにしていく ・ 契約時に保護者にも説明できるものを作成する
3			